

27N009_頭頸部_FP+KEYTRUDA

FU(Day1-4) + CDDP(Day1) + Pembrolizumab(Day1) 3週毎 6コース

◆ _____月 _____日(Day1)から _____コース実施。(外来で実施 ・ 入院で実施)

◆ 免疫チェックポイント阻害薬導入時は「投与前スクリーニングセット検査」が必要です。

◆ 検査が実施されない場合、がん化学療法の実施は認められません。

Rp	商品名	用量[基準量]	投与方法	Day0	1	2	3	4	5	6	7
1	デカドロン錠4mg	2 錠	po			●	●	●			
2	生食注(50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
3	生食注(100mL) キイトルーダ点滴静注	1 瓶 200mg[200mg/body]	div / 30min		○						
4	生食注(50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
5	パロセトロン注バッグ0.75mg/50mL アロカリス点滴静注235mg デカドロン注射液1.65mg	1 袋 1 瓶 6 A	div / 30min		●						
6	生食注(50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
7	テルモ生食(500ml) 硫酸Mg補正液1mEq/mL	1 袋 8 mEq	div / 2hr		●						
8	20%マンニトール注(300mL)	1 袋	div / 1hr		●						
9	生食注(250mL) シスプラチン注	1 袋 _____mg[100mg/m ²]	div / 2hr		○						
10	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管) / フラッシュ		●						
11	生食注(1リットル) フルオロウラシル注	1 袋 _____mg[1000mg/m ²]	div(側管) / 24hr		○	○	○	○			
12	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管) / フラッシュ							●	
13	ソリューゲンF注(500mL)	1 袋	div / 2hr		●						
14	ソリューゲンF注(500mL)	1 袋	div / 2hr		●						

- ・ キイトルーダ注の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2~0.22μm)を使用すること。
- ・ キイトルーダ注の希釈後濃度は、1~10mg/mLとなること。